

GD TOPICS

ご愛顧に感謝

2025年

4月

お台場グリーンパサージュ(4業態) 25周年

7月

モンズーンカフェ舞浜
デカダンス ドュ ショコラ茗荷谷 25周年
15周年

9月

モンズーンカフェ代官山
ららぽーと愛知東郷(2業態) 30周年
5周年



■お台場グリーンパサージュ

アクアシティお台場の 4Fにある、当社4業態が連なったレストランゾーンです。エントランスから中に進むと、異国情緒漂う空間の中に『カフェラ・ボエム』、『ゼスト キャンティーナ』、『モンズーンカフェ』、『権八』の4つのレストランが現れます。ラ・ボエム、モンズーン、権八ではレインボーブリッジが望めるお席でお食事を楽しんでいただけます。

■デカダンス ドュ ショコラ茗荷谷

茗荷谷は、チョコレートの製造工場に販売所が併設された店舗です。ボンボンショコラなどの各種チョコレート、ケーキ、焼き菓子の店頭販売と、オンラインショッピングに対応しております。デカダンスの

会社概要 (2024年12月31日現在)		Corporate Data
商 号	株式会社グローバルダイニング	GLOBAL-DINING, INC.
本 社 住 所	〒107-0062 東京都港区南青山七丁目1番5号	
主 な 事 業 内 容	レストラン経営による飲食事業	
設 立 年 月 日	1973年10月5日	
資 本 金	46,686,203円	
従 業 員 数	単体169名 連結187名 (連結臨時従業員数822名)	
店 舗 数	47店舗(海外3店舗含む)	
子 会 社	グローバルダイニング、インク. オブ カリフォルニア	
役 員	代表取締役社長	長谷川 耕造
	取締役 副社長	小林 庸麿
	取締役 最高財務責任者	中尾 慎太郎
	監査等委員 委員長	藤本 三郎
	監査等委員(社外)	大島 明子(岡本 明子)
	監査等委員(社外)	川井 隆史

※中尾慎太郎氏は2025年3月22日をもって退任予定です。

株式メモ	
単 元 株 式 数	1単元の株式数 100株
事 業 年 度	毎年1月1日から12月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年3月下旬に開催
株 主 名 簿 管 理 人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特 別 口 座 管 理 機 関	三井住友信託銀行株式会社
郵 送 物 送 付 先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電 話 照 会 先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-782-031
https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/	



商品は『カフェラ・ボエム白金』や『カフェラ・ボエム麻布十番』の店内でも買い求めいただけます。

■モンズーンカフェ代官山

1996年に放映されたTVドラマ「ロングバケーション」のロケ地となった店舗です。吹き抜けの高い天井、回廊のように配置され1階を見下ろせる2階席、ベット同伴可のテラス、3階にはパーティーフロアを備えた大型店です。2017年に改装し、東南アジアリゾートの雰囲気は残しつつ、白を基調とした明るくモダンな空間に生まれ変わりました。

2024年12月末日を基準日とし、500株以上ご所有の株主様には、2025年4月1日から使用可能な株主優待証を同封致しております。

◆優待証に関するお問い合わせ◆
株式会社グローバルダイニング
総務管理グループ
Tel :050-5444-9868
stock@global-dining.com

株主優待証

2025年9月30日まで

15% OFF

株式情報 (2024年12月31日現在)		Stock Information
発行可能株式総数	16,896,000株	
発行済株式の総数	10,400,800株	
株 主 数	3,483名	
大 株 主	※持株比率は分母から自己株式(711株)を除いて計算しております。	
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
長谷川 耕造	6,153	59.16
株式会社スペースラボ	792	7.62
ハセガワインターナショナルトレードカンパニー	626	6.02
ヨシダ トモヒロ	490	4.72
株式会社SBI証券	166	1.60
株式会社古館篤臣総合事務所	115	1.11
小林 庸麿	63	0.61
宗次 徳二	44	0.43
内藤 征吾	41	0.40
グローバルダイニング従業員持株会	32	0.31

所有者別株式数比率	株数(千株)	株式数比率(%)
個人・その他	8,467	81.42
その他国内法人	938	9.03
外国法人等	689	6.63
金融商品取引業者	304	2.92
金融機関	0	0.00

◆お知らせ◆
第52期定時株主総会(2025年3月22日開催予定)における決議の結果(決議通知)については、株主総会終了後、すみやかに当社ホームページに掲載致します。
当社ホームページアドレス <https://www.global-dining.com/ir>

株式会社グローバルダイニング

Business Report 2024

第52期 ご報告 (2024年1月1日から2024年12月31日まで)

2024年12月23日ソフトオープン!



『Settecento』(セッテチェント) LAのダウントアウンビル群の中に忽然と現れた“緑と光溢れる庭園レストラン”

ロサンゼルス中央図書館を背景に設計された緑豊かな庭園内に建ち、広いプライベートガーデンやテラスが付随したその佇まいは、高層ビルの多いダウントアウン地区の中でひときわ存在感を放っております。最大の魅力は、開放的な癒し空間での“ガーデンダイニング”。昼間は緑に囲まれて、夜は雰囲気のある照明の中でお食事を楽しんでいただけます。店舗の内装は図書館や庭園との調和を意識し、インテリアブックや自然光をふんだんに取り入れた空間造りにこだわりました。自治体の建築工事確認等で時間を要しましたが、2024年12月23日よりソフトオープンを開始、2025年1月23日にグランドオープンを迎えました。訪れる方々に、最高の食材とレシピで、イタリア全土の豊かな食文化を体感できる料理を提供してまいります。

『NASU PARADISE VILLAGE』(那須パラダイスヴィレッジ) 世界でも稀に見る“フードホールとホテルが一体化したエンタメ施設”の誕生



フードホールの上に宿泊施設を配した、世界でもその存在はめずらしい商業施設が誕生します。1階は当社の既存・新業態合わせて13店舗(物販含む)が連なり、『権八』と『ラ・ボエム』はフルサービス業態として栃木県初出店となります。2階のホテルはドミトリイ 2部屋含めて37室、一部屋毎に趣の異なる空間造りで特別なひとときを演出します。先行してホテルと権八のソフトオープンを開始しており、2025年3月19日の全館グランドオープンを目指しています。栃木県産の食材を活用した商品開発、開放的な中庭席、夜にはイルミネーションを灯した幻想的な空間で、心躍る食体験を提供してまいります。



店名:『Settecento』
※『セッテチェント』とは“700”を意味するイタリア語
住所: 700 W 5th Street,
Los Angeles, California
席数: 屋内 66 席
テラス・中庭 144 席



施設名:『NASU PARADISE VILLAGE』
ホテル名:『HOTEL PARADISO』
(ホテルパラディソ)
所在地: 栃木県那須塩原市鹿野崎
字戸屋109番7



※新店の『那須パラダイスヴィレッジ』は、施設運営が安定する時期(2025年9月30日頃)まで株主優待の適用除外店舗とさせていただきます。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

第52期連結累計期間が終了致しましたので、事業の概況についてご報告申し上げます。

当期における国内の外食産業を取り巻く経営環境は、2024年度のインバウンド消費が8兆円を超え過去最高であったことや税制改正に伴う法人交際費の支出回復等により景気回復基調が続いたものの、円安や異常気象等による原材料価格の高止まり、慢性的な人手不足やそれに起因する人件費の上昇など、引き続き厳しい経営環境となっております。

そのような中、当社（国内）では、ホスピタリティの向上、産地からの直接購買やメニュー改定等の実施を通じた納得感ある商品構成と価格改定の浸透、那須パラダイスヴィレッジ（宿泊飲食複合施設）の開業準備に注力致しました。また、全店完全キャッシュレス決済化（商業施設を除く）による店舗運営の効率化や給料のベースアップも実施しました。その結果、前年比で客数・客単価が伸び、インバウンド需要が堅調に推移したこともあいまって、国内売上高は101億15百万円（前年比8.4%増）と11期振りに100億円を超えました。食材価格高騰による原材料費率の悪化や全店キャッシュレス化で信販手数料が増加したものの、増収により営業利益は9億71百万円（同23.4%増）と大幅増益となりました。当期純利益については、2億21百万円の税金費用の計上により、7億25百万円（同18.4減）の減益となりました。

米国では、店舗のあるカリフォルニア州の治安悪化や人件費高騰などの厳しい環境下、オペレーションの効率化や経費削減、メニュー改善に注力したものの、サンタモニカの大型店が苦戦を強いられ、かつダウンタウンの新店において建築工事確認に想定以上の時間がかかり開業予定日がずれ込んだ影響で費用計上が先行したことから、売上高は16億73百万円（前年比5.0%減）、営業損失2億18百万円（前年は53百万円の損失）、当期純損失2億10百万円（前年同期42百万円の損失）となりました。

米国の業績悪化を好調な国内業績でカバーした結果、当期の

連結売上高は117億88百万円（前年比6.3%増）、営業利益は7億53百万円（同2.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は5億14百万円（同39.2%減）となりました。

新年度の2025年においては、日米ともに全力を上げて新店の立ち上げに注力してまいります。どちらの店舗も、立地環境や施設の存在そのものがめずらしいなど、当社の強みである魅力的な空間造りが可能であると判断し、出店を決断いたしました。外食は“日常のエンターテインメント”であり、そこに重点を置くと必然的に投資額が大きくなる傾向がありますが、当社グループはそこで勝負しており、常に業態を進化させていくことで、寿命の長い店舗づくりを目指してまいります。

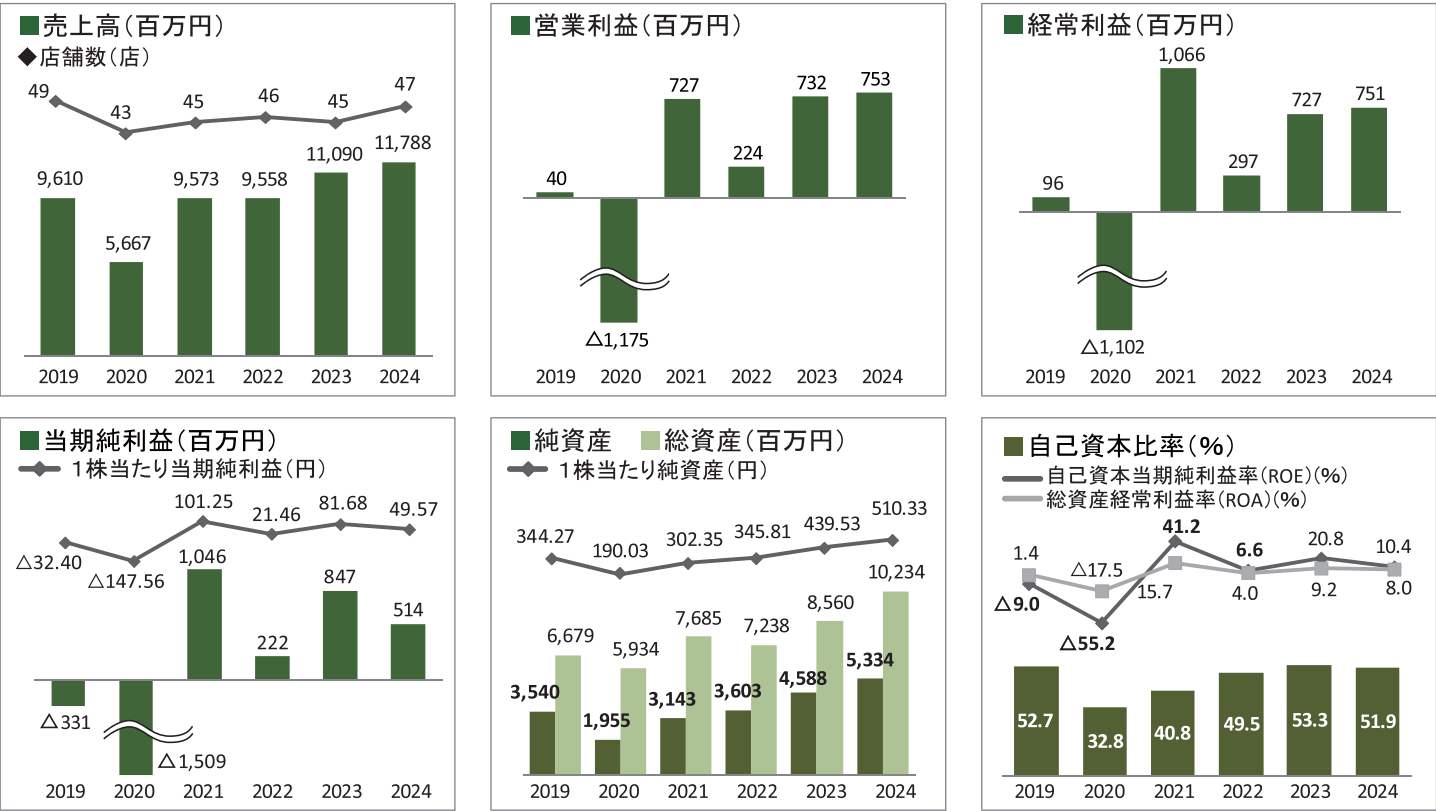
新店が順調に稼働するまでは、国内既存店業績で連結業績を下支えすることとなりますので、当期に引き続き、オペレーションの効率化、ホスピタリティの強化、さらにはサプライチェーンマネジメントの進化によってこれまでの好業績を維持するとともに、既存業態の新店出店にも取り組んでまいります。

以上のことから、ジャンプをする前にかがむように、新年度は成長のための設備投資・人材育成の時期にあると捉えていただきたく、2025年12月期通期連結業績予想は、新店2店舗の開業により売上高は134億80百万円（前年比14.3%増）となるものの、営業利益は6億25百万円（同16.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は3億66百万円（同28.9%減）となる見通しであります。

昨今の経営環境の変化は目まぐるしいものがありますが、どんな変化も成長のチャンスに変えられるよう強い意志をもって臨んでまいりますので、株主の皆様には、引き続き当社の事業展開にご注目いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2025年2月
代表取締役社長 長谷川耕造



※2021年度は、日・米の政府や自治体によるコロナ救済・支援対策がなされており、協力金収入や受取還付金等の営業外収益や、債務免除等の特別利益を計上しております。

※決算の詳細はこちらをご覧ください
<https://www.global-dining.com/ir/>



◆要約連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結損益計算書		(単位：百万円)
科目	前連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	11,090	11,788
売上総利益	1,808	1,909
販売費及び一般管理費	1,075	1,156
営業利益	732	753
経常利益	727	751
親会社株主に帰属する 当期純利益	847	514

連結キャッシュ・フロー計算書		(単位：百万円)
科目	前連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	815	643
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 670	△ 1,676
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 97	600
現金及び現金同等物に 係る換算差額	24	41
現金及び現金同等物の 増減額	72	△ 391
現金及び現金同等物の 期首残高	1,108	1,180
現金及び現金同等物の 期末残高	1,180	788

連結貸借対照表		(単位：百万円)
科目	前連結 会計年度末 (2023年12月31日現在)	当連結 会計年度末 (2024年12月31日現在)
資産の部		
流動資産	2,183	2,043
現金及び預金	1,180	788
受取手形及び売掛金	491	590
その他	512	664
固定資産	6,377	8,191
有形固定資産	5,045	7,051
無形固定資産	12	9
投資その他の資産	1,318	1,130
資産合計	8,560	10,234

連結貸借対照表		(単位：百万円)
科目	前連結 会計年度末 (2023年12月31日現在)	当連結 会計年度末 (2024年12月31日現在)
負債の部		
流動負債	1,593	1,833
固定負債	2,378	3,066
負債合計	3,972	4,900
純資産の部		
資本金	44	46
資本剰余金	2,144	2,146
利益剰余金	2,117	2,631
為替換算調整勘定	244	460
その他	36	48
純資産合計	4,588	5,334
負債・純資産合計	8,560	10,234

